

事務事業名	新コミュニケーションシステム構築事業		所属部局	総務部	単位番号	2014- 900121				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	管財契約課	課長名	樋川 純一				
			所属担当	情報システム担当	担当者名	山口 一樹				
基本政策	基本計画	I 情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	01	行財政改革の推進	事業区分	01	一般	02	01	09	030	21
施策	02	行政改革の推進		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 26 年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 補助金交付事業					
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載		法令根拠	事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)						
	IP電話システムが老朽化し障害が発生している。保守サポート期限を迎えるので、新しいコミュニケーションシステムを導入する。		項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
			委託料	756						
		使用料及び賃借料	1,012							
					計 1,768					

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容	新しいコミュニケーションシステムを導入するための業者選定をプロポーザル方式で行う。本稼働は、平成27年2月予定。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	27年度活動予定	新しいコミュニケーションシステムを導入し、システムの使用料を支払う。			ア 情報基盤整備	事業数
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	IP電話、市民、職員		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア 端末数(IP電話・PHS)	台
					イ 市民	人
					ウ 職員	人
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	情報ネットワークの認証基盤などと総合的に整備する事により、職員の事務効率の向上を図る		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア ツール活用率	%
					イ 内線不在件数	件
					ウ	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	システムの安定稼働と事務の効率化による住民サービスの向上を図る		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア 改修後の障害発生件数	件
					イ	

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円			1,768	16,200	16,200	16,200		
		事業費計(A)	千円	0	0	1,768	16,200	16,200	16,200	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人			3	3	3	3		
		延べ業務時間	時間			100	100	100	100		
		人件費計(B)	千円	0	0	455	455	455	455	0	0
		(A)+(B)	千円	0	0	2,223	16,655	16,655	16,655	0	0
	活動指標	ア 事業数				1.0	1.0	1.0	1.0		
		イ									
		ウ									
	対象指標	ア 台				599.0	599.0	599.0	599.0		
		イ 人				73,000.0	73,000.0	73,000.0	73,000.0		
		ウ 人				850.0	850.0	850.0	850.0		
	成果指標	ア %				10.0	80.0	90.0	90.0		
		イ 件				100.0	50.0	40.0	30.0		
		ウ									
	上位成果指標	ア 件				0.0	0.0	0.0	0.0		
		イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	合併時より現在のIP電話システムを使用している。システムの保守サポート期間終了や電話交換機の老朽化によりシステムの維持管理が出来なくなる。情報化技術の進化により、コミュニケーションに対する考え方に変化が
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	新しい技術が開発されていく中で、本市も業務を行う中で最適な物を選択する必要はある
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	固定電話・PHSは導入後10年が経過している。システムの老朽化に伴い、内部から固定電話・PHSの故障・修理の依頼が多数発生している。H24年 79件、H25年 71件 H26年11月現在 39件の故障及び修理依頼

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	3事業者に新コミュニケーションシステムの内容や価格の情報提供依頼を実施した。システムの仕様書を作成し、本年プロポーザル方式にて4社に依頼した。評価の結果、優先交渉権者と導入に向け、折衝中である。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	新コミュニケーションシステム構築事業	所属部	総務部	所属課	管財契約課
-------	--------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 老朽化を迎えたIP電話システムを新庁舎建設の整備計画にも合わせ、計画的に更新する事で経費節減が図れる
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 システム計画策定は市の責任において、実施しなければならない 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 システムを安定的、効率的に運用するためには、計画的な選定や入替えを行う必要があり妥当である
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 計画的にシステムの導入や基盤整備を行い同時期に改修を行う事で、事業費用の削減を図る事が出来る
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) 新情報ネットワーク基盤整備事業 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 システム毎に整備されているインフラを同一基盤上で行う事で導入費用や維持管理経費の節減が図れる <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 IP電話システムの老朽化により、早急に事業を行い必要が市民からの電話での問い合わせ等が行えなくなる危険性がある
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 事業者からの情報提供やプロポーザル方式による業者選定を行い必要最小限の費用で最大限の効果を図った
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 新しい技術を取り入れる事で事務の効率化を図れる。今後、システムを使用する職員も事務の運用方法や効率化を推し進める事で更なる経費節減が図れる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市内部の業務であり、特定の人に偏った事業ではない

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	業者選定は、3社のプロポーザル方式で行った。結果については、(株)YSKe-comとなった。平成27年3月にテスト環境を構築し、本稼働は4月1日の予定。 自席で行えない業務のために、ワイヤレス端末の要望が上がっている。今後、対応を検討していく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					